

# 財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 宇検村

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
246	1,376	65	1,687

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	2,872	2,816	56	56	-	4,798	基金から292百万円繰入
一般会計等	2,872	2,816	56	56		4,798	

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国保事業特別会計	331	326	5	5	40	-	-	公営企業以外
国保施設事業特別会計	69	67	2	2	16	7	1	公営企業以外
老人保健医療事業特別会計	425	424	1	1	29	-	-	公営企業以外
簡易水道事業特別会計	194	194	0	0	41	342	142	法非適用
農業集落排水事業特別会計	178	178	0	0	41	478	333	法非適用
漁港漁村集落排水事業特別会計	22	22	0	0	20	219	171	法非適用
介護保険事業特別会計	314	314	0	0	47	-	-	公営企業以外
公営企業会計等 計				8		1,046	647	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。  
 2. 法適用企業に係るもの以外については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
鹿児島県市町村総合事務組合	17,523	17,362	162	162	2,957	-	-	
奄美自治会館管理組合	13	12	1	1	-	-	-	
大島地区衛生組合	2,379	2,294	84	84	-	2,975	25	
大島地区消防組合	1,386	1,375	11	11	-	287	44	
奄美群島広域事務組合	278	261	18	18	15	-	-	
大島地区介護保険一部事務組合	57	52	5	5	-	-	-	
大島農業共済事務組合	140	135	4	△ 17	17	-	-	
鹿児島県後期高齢者広域連合	1,005	933	72	72	-	-	-	
...								
一部事務組合等 計				353		3,262	69	

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
宇検村元気の出る公社	△ 4	△ 25	7	9	-	-	30	9	
...									
地方公社・第三セクター等 計			7	9	-	-	30	9	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		217	
減債基金		433	
その他充当可能基金		238	
充当可能基金 計		888	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	-	-	-	△ 15.00	△ 20.00	簡易水道事業特別会計		1.1	
連結実質赤字比率				△ 20.00	△ 40.00	農業集落排水事業特別会計		0.6	
実質公債費比率	21.5	21.0	△ 0.5	25.0	35.0	漁港漁村集落排水事業特別会計		5.3	
将来負担比率		115.0		350.0					
財政力指数	0.11	0.11	-						
経常収支比率	101.7	101.6	△ 0.1						

- (注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。